

令和 8 年度 学校経営方針

令和 8 年 4 月 1 日

赤文字は新規または昨年もあったが、特に力を入れててていきたいところです。



つながりを大切にし、学校・保護者・地域、みんなでつくる

「笑顔あふれる武蔵野小学校」

令和 8 年度の武蔵野小は、全教育活動を通じて**子供たちのウェルビーイング向上**に取り組めます。これまでの本校の取組を大きく変えるものではありません。「子供たちの幸せ」「安心・安全」という価値観に改めて着目し、学校・家庭・地域で共有しながら、豊かな教育活動を実現していきます。

「ウェルビーイング」＝ 体と心の健康

(文科省の定義から) 人とのつながりにおける良好な状態

将来にわたる持続的な幸福

を含む概念



昭島市立武蔵野小学校

令和8年度 学校経営方針

令和8年4月1日

昭島市立武蔵野小学校 校長 大河原 博

1 学校経営の基本的な考え

武蔵野小学校は、全ては子供たちのために「楽しい学校づくり、学校経営」を目指し「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図ります。

そして、学校・家庭・地域と密接に連携し、ふるさと昭島の自然や文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指し、本年度も以下の学校づくりを目指していきます。

**つながりを大切にし、学校・保護者・地域、みんなで作る
笑顔あふれる武蔵野小学校**

昭島市初の**コミュニティスクール**として、「地域に支えられ、地域と共に歩む学校」を基本とし、保護者・地域の期待を尊重し、子供が社会に出たときに、人生を幸福で豊かなものにするために、小学校教育で担うべき役割を明確化し、「**子供たちのウェルビーイングの向上**」をめざしながら、発達段階に応じた意図的・計画的な教育活動を組織的に行います。

「ウェルビーイング」

=

体と心の健康

幸せで満たされた状態

人とのつながりにおける良好な状態

将来にわたる持続的な幸福

■子供たちのウェルビーイングを向上させるための要素■ ▶ これらの要素が教育活動の中で反映されています。

自己実現と自己受容

心身の健康と幸福感

多様な経験と**主体性**

レジリエンス * ・挑戦

多様なつながりと協働

社会貢献力

尊重・倫理・道徳観

スキル・思考力

■子供たちを支える場(学校・地域)のウェルビーイング■

[多様な構成員による理解のもとに]

物理的・心理的な安全

創造性の育成

つながりと信頼の基盤

多様性と開放性

きまりと規範

周辺環境

★子供たちのウェルビーイング向上には、教師をはじめとする、学校全体のウェルビーイングが重要

★子供たち一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がり、その広がりが多様な個人を支える。これが、将来にわたって世代を超え循環できるように!

*レジリエンス=困難な状況に直面しても、すぐに立ち直り、しなやかに適応する能力

2 令和8年度の概要

昨年度に引き続き、児童が、**主体的に自ら考え、判断し、行動できる**教育活動を授業や学校行事の中で意図的に設定し、**児童の自己実現と共に、自らよりよい武蔵野小学校を創り上げ、継続・進化させていく担い手としての意識と意欲を育てていきます。**

授業の中では、**問題解決力の育成**を意識した授業を行い、自分の考えをしっかりとつ場面を設定し、話し合い（**対話的な活動**）や協力して行うグループ活動（**協働的活動**）を多く取り入れ、児童同士が互いの**価値感を認め合いながら、**よい問題解決ができるようにします。**また同時に、児童のよりよい関係性を構築する基盤とします。**

そして、児童のメタ認知能力を高めるため、学習や行事での**振り返り活動を充実**させます。

さらに、地域の学校として、常に評価・改善しながら、地域と協働した教育活動を展開します。子供自身の手で未来社会を切り開くための資質や能力を育み、人から教えられるのではなく、**自分自身で主体的に問題を見付け、考え、対話的に考えを交流し、よりよい解決**を導き、さらには、**新しい価値を見いだす力を育成する教育活動を推進**します。

なお、東京都が令和10年度完全実施を目指している、高学年**教科担任制**にむけて、**本校の現状と実体に即した効果的な運用を行っていく。**高学年に限らず低・中学年においても授業交換や単元分担なども含め、効果検証しながら実施していく。

3 教育目標

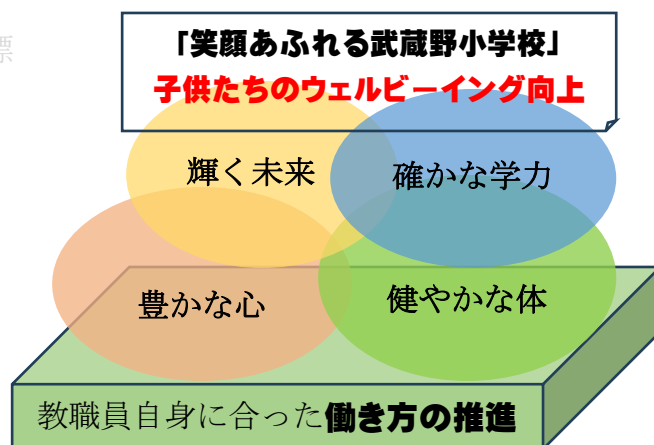
知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るとともに、学校・家庭・地域が密接に連携し、ふるさと昭島の自然や文化を愛し社会に**主体的**に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指すために、次の3点を教育目標とします。

○しっかり考える子 （問題解決力）	○心やさしい子 （人間関係形成力）	○つよく元気な子 （体力・活力）
よく見て、よく聞き、よく考える力を培い、思考力・判断力・表現力を身に付けた子供	生命の尊さと人権尊重の精神を学び、感性あふれる豊かな心をもつ子供	健康、安全に心を配り、すすんで心と体を鍛えることができる子供

子供たちが学んで楽しい、教員にとって教えて楽しい、**どちらにとってもウェルビーイングの向上が図られ、**皆が満足し、幸せで**笑顔があふれる学校**を目指します。全ての大人と子供が、人権に配慮し、心を通わせることを重視した教育活動を展開していきます。また、皆が力を合わせ、組織的・計画的に、**自分たちの手で**よりよい武蔵野小を創り、**時代や状況に合わせて進化できる学校**にしていきます。

4 教育目標を達成するための基本方針 中期経営目標

- 方針1 **確かな学力**の定着と学ぶ楽しさの共有
- 方針2 相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる**豊かな心**の育成
- 方針3 **健やかな体**の育成
- 方針4 学校外と連携し、**輝く未来**に向かって児童が自立する基礎を養う。
- 方針5 教職員自身に合った働き方の推進



5 教育目標を達成するための具体的な方針

方針1 **確かな学力**の定着と学ぶ楽しさの共有

授業の中での学ぶ楽しさを味わい、**主体的**に学習することの素晴らしさや、学級内で学びを共有していくこと価値が分かる児童を育成します。特に各学年で身に付けるべき知識や技能・態度や習慣を明確にし、確実に定着させることは、子供たちの学びの支える一番の基盤であることを再認識して私たち教師は授業を展開します。

様々な学習場面や生活場面で遭遇した問題に対して、自ら主体的に情報収集を行い、現状分析・把握をし、課題を見つけ、協働的によりよく解決していく**問題解決能力**や考えたことについて、よりよく相手に伝えることができる表現力やプレゼンテーション能力の育成を図ります。

また、学んだことを多角的に考察し、実生活に生きる新たな価値の想像ができる深い学びとなるような活動を展開します。自分の意見や考えを明確にもち、相手に伝えることのできる人間を育成します。

自己実現と自己受容

多様な経験と主体性

多様なつながりと協働

スキル・思考力

創造性の育成

きまりと規範

つながりと信頼の基盤

多様性と開放性

など



- ・問題解決学習の学習過程を設定し、思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ・自分から**進んで課題に取り組む**など、児童の**主体的な**学習態度を育成する。
- ・児童同士の交流等で自他のよさや可能性を知る**多様性**や**協働性**を重視する。
- ・**学校・学年の実態に合った教科担任制や授業交換**を積極的に実施し、授業改善を基にした児童学力向上を図るとともに、担任だけではなく学校全体で子供たちを指導していく環境を作っていく。
- ・特に算数や国語において、学習内容の定着や習熟のために取り扱う**問題数や練習数を増やし**、朝の時間や家庭での宿題も含め取り組む機会を増やす。また、授業では必要に応じて既習内容の定着を確認したり、復習をしたりした上で学習を展開するなど、**児童のスタートラインを揃えることを意識**する。
- ・少人数指導や補習教室等で基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。
- ・聞く・話す・発表・まとめる等の言語活動を充実させる。
- ・少人数指導や補習教室等で基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。
- ・タブレットPCを中心に、ICTを活用した学習を充実させる。**多様な活用方法を開発・情報収集するとともに、各教師のスキルアップも図っていく。**
- ・言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・各教科等との関連を図った教科横断的・探究的な活動、体験的・問題解決的な活動を行い、学び方やものの考え方、表現する力を身に付け、課題を探究する態度や姿勢を育成する。
- ・障害の有無に寄らず、合理的な配慮に基づいて一人一人の教育を保障する教育支援の充実を図る。
- ・児童の個性や能力の伸長、生涯学習の基礎づくりなどの観点を踏まえた、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育の充実を図る。

方針2 相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる**豊かな心**の育成

全ての活動を通して、自分のよさと友達のよさを実感し、児童の自己**有用感**を高めていきます。人と関わる中で重要なのは、相手の気持ちや思考を想像する力です。常に相手の事を考え行動することができる想像力を育みます。また、多様な価値観を認め尊重する態度と**協働する素晴らしさを学ばせます**。

そして、生命の尊さと人権尊重の精神を学び、感性豊かな心を持ち、自分を大切にし、人のために考え、よりよい**人間関係を形成**できる資質・能力を育成します。

自己実現と自己受容

心身の健康と幸福感

多様なつながりと協働

尊重・倫理・道徳観

物理的・心理的な安全

多様性と開放性

つながりと信頼の基盤

周辺環境

など

- ・教育活動全体を通して、生命尊重を基盤とした教育と人権教育の推進を図る。
- ・特別の教科である道徳を要とする道徳教育を充実し、他者理解や思いやりの心情等の道徳性を養う。
- ・特別活動の児童会や学級活動など様々な集団活動に、**児童主体**の自主的、実践的、創造的な取組を取り入れる。互いのよさや可能性を認めながら集団や自己の生活上の課題をよりよく解決する力を育む。
- ・本校の特色でもある縦割り班活動等の異学年交流をの工夫して、相手意識を深めるとともに、自己有用感を高める活動を行う。
- ・音楽や図工における表現及び鑑賞の活動や、鑑賞教室など多様な表現や鑑賞の活動等の充実を図る。
- ・読書活動の充実を図り、想像力を高め児童の読書を愛好する態度を育成する。
- ・いじめを許さない心情を育て、いじめの早期発見・早期解決に努める。
(都の「いじめ対策総合対策」を踏まえた、いじめ防止対策の確実な実施をおこなう。)

方針3 **健やかな体**の育成

生涯幸福に生活するためには、健康・安全であることが重要です。そこで、自分の心と体の健康に関心を持ち、自ら心身の健康管理や体力向上をすることができる児童を育成します。**体力向上**とその意欲になる活力を育む教育活動を展開します。

心身の健康と幸福感

レジリエンス * ・挑戦

物理的・心理的な安全

多様な経験と**主体性**

スキル・思考力

創造性の育成

きまりと規範

周辺環境

など

- ・家庭と連携してグッドモーニング60分の維持推進し、自身の生活を振り返り、健康安全につながる生活習慣を身に付けようとする態度を育成する。
- ・多様な運動を通して体力の向上に関する指導の充実を図る。
- ・委員会活動や学級活動などで、児童が主体となる取組が生まれる環境作りを推進する。
- ・食育を推進し、望ましい食習慣を身に付ける。
- ・安全に関する情報を正しく判断し、安全のための行動に結びつけるため指導の充実を図る。
- ・心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるための心身の健康の保持増進に関する指導の充実を図る。



方針4 学校外と連携し、**輝く未来**に向かって児童が自立する基礎を養う。

学校運営協議会を機能させ、地域の学校として、常に評価・改善しながら、地域と協働した教育活動を展開します。また、令和8年度は**地域学校協働活動実施校**として、学校と地域が連携した取組を推進していきます。児童自身の手で未来社会を切り開くための資質や能力を、地域等外部の人材や教材を有効に活用して身に付けさせます。子供たちが迎える将来の社会（グローバル社会）で活躍するためのコミュニケーション能力を、多様な人との関りの中で育み、児童の自立の基礎を養います。

多様なつながりと協働

社会貢献力

多様な経験と**主体性**

つながりと信頼の基盤

多様性と開放性

周辺環境

- ・家庭・地域社会との関りを深め、相互理解や行動連携・協働を通して児童を育てていくために、学校は、その中心的役割を發揮する。
- ・地域や様々な人々との交流活動を積極的に取り入れ、多様な価値観・多様な考え方とふれ合う機会を設け、協働する体験を増やす。その際に、**地域学校協働本部の地域コーディネーター**を活用し、**地域の声を聞きながら、双方にとって実りあるものにしていく。**
- ・家庭・地域の声を活かすとともに、学校の教育活動を情報発信していくことに努める。
- ・幼保・小中の連携を図り、児童が安心して自身のキャリアを積み重ねていくことができる環境を作る。

方針5 教職員自身に合った働き方の推進

児童の成長を願い、充実した教育活動を展開するためには、学校における一番の環境である**教職員自身のウェルビーイングの向上が重要**です。現在の武蔵野小学校は、職員全体の親和性も高く、相互の関係性も非常に良い組織です。それでも業務においては過度な負担や様々な課題があります。それらの解決に向け、教職員一人一人が**職務に関する主体的な改善を図る**とともに働き方に対する意識を変えることが必要です。また、保護者や地域の皆さんにもご理解いただき、ご協力を得る必要があります。自分の仕事の進行管理能力を高め、効率化を図り、メリハリのある仕事の仕方を考えられるようにし、新たな働き方の価値を見だし、その働き方を互いに尊重できるようにします。経営の基本方針に位置付け取り組むことで、教職員自身が働きがいを持ち、よりよい教育の推進を図れるようにします。

物理的・心理的な安全

つながりと信頼の基盤

多様性と開放性

きまりと規範

創造性の育成

周辺環境

- ・業務に関する**効果的な改善**や**合理的な改善**を常に意識しながら、**主体的に**職務に努める。
- ・ICTやAIを活用し教育のDX化を推進し、効率的な業務を目指す。そのために教職員一人一人が積極的に情報収集するとともに、職場での共有を図る。
- ・教職員一人一人が持ち味を発揮し、協働性の高い職場づくりを進める。
- ・子供に向き合う時間や教材研究する時間を確保しながら教育計画を確実に実施し、よりよい教育を実践する。
- ・自分の働き方を見つめ直し、自分に合った働き方を実践させる。
- ・教職員同士の結びつきを強め、補完性を共有できる同僚性を高める。
- ・昭島市の「**学校の働き方改革の推進に向けた実行プログラム**（令和8年3月）」を遵守しながら、本校に合った働き方改革を推進しながら合理性・効率性が高い組織にする。

6 目指す教師像

「教育は人なり」と言われるように、教育活動を実践する教員の資質・能力の向上が大切です。上記の学校を創造するため以下の教師を目指していきます。

もちろん教職員は、**法規・法令を遵守し公務員としての役割を自覚しながら教育活動に専念し今年もサービス事故0にします。**

（サービス事故防止スローガン＝心に届く言葉で指導 STOP 体罰 NO 暴言）

(1) 子供のことを第一に考える教師

常に、子供の成長を願い、子供を信じ、子供のことを第一に考え、教育活動の充実のためには不断の努力を惜しまない教師を目指す。

(2) 子供のよきモデルとなる教師

「思いやりのある やさしい子供」を育成するためには、「思いやりのある やさしい教師」でなければならない。そして、「やるべきこと」「やってはいけないこと」「守らなくてはならないこと」等、常に社会人としての規範的な行動をとり子供に指導するとともに、自身でも実践し、子供のモデルとなれる教師を目指す。

(3) 互いに協力し合い、認め合い、高め合う同僚性の意識が高い教師

学校運営の基本は組織力です。互いに日々の実践を共有・振り返ることができる教員集団として互いに協力し合い、認め合い、高め、育ち合える同僚性のある教師を目指す。

また、組織人材は最高の教育資源である意識を持ち、日常的に互いの指導を見合い、学び合いながら、指導技術や教育理念を磨き合うことを目指す。



7 その他

- ・本校のレガシーとして、学校の特色である芝生化の活用で、維持管理から環境への意識を高め、その活用・交流から地域愛を育む。
- ・「つなぐ・そろえる・つらぬく」をキーワードとした、瑞雲中学校ブロックの特色を生かした教育活動を継続して展開していく。
- ・学校運営協議会制度を導入4年目。昭島市初めの「コミュニティースクール」(武蔵野小、つつじが丘小、瑞雲中)の学校運営協議会を継続。地域と連携した教育活動を発展する。今年度から市内で6校が**地域学校協働活動実施校に指定**され、本校も該当する。
- ・昭島市の「いじめ防止基本方針」が改定されることに伴い、本校の**いじめ防止基本方針も今年度いっぱいかけて幅改定**を実施。
- ・課外音楽クラブのクラブ化が完了。地域での活動と教職員全体での支援を継続する。
- ・教育活動全体を通して地域や外部の人材を活用する。子供たちに幅広い学びを通して、多様な見方考え方を身に付けさせる。



【今年度も実施します】

- 学びポケットによる欠席連絡
- 学校からのお知らせの電子化
(定期配布物は学びポケット、その都度のお知らせや情報提供はマチコミメール)
- イトマンスイミングによる水泳指導
(1年生は7月・他の学年は6月)
- 昭島市の給食無償化
- 年8回の放課後補習教室
- 夏季休業中の補習教室と保護者面談



【お願いします】

- 8:15までの確実な欠席連絡。朝の会(8:25)段階で連絡なしで登校がない場合は、ご家庭に連絡しています。遅刻の場合もお知らせください。
- 遅刻・早退の場合は保護者の方の付き添いをお願いします。早退の際は教室までお迎えをお願いします。
- 自動車でのお子様の送迎はおやめください**。近隣の住民の方もお困りで、学校への連絡も多くなっています。事情がある場合は、敷地内の駐車場をご利用いただくことも可能ですのでご相談ください。
- 住所等の変更・転学予定・通学路変更があった場合は、学校までお知らせください。